

201225020B

別添1

厚生労働科学研究費補助金
新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

平成22年度～24年度 総合研究報告書

研究代表者 三浦 宜彦

平成25 (2013) 年 5月

目 次

I. 総合研究報告

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究…………… 1

三浦宜彦

(資料1) インフルエンザワクチン接種状況調査の調査票一式

(資料2) 医療機関調査の解析 I ーワクチン接種の現況ー

渡辺由美

(資料3) 医療機関調査の解析 II ー需要予測ー

延原弘章

(資料4) 2005～2011 年度インフルエンザ予防接種需要予測の評価

大日康史

II. 研究成果の刊行に関する一覧表…………… 53

III. 研究成果の刊行物・別刷…………… 55

厚生労働科学研究費補助金（新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業）
総合研究報告書

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

研究代表者 三浦 宜彦 埼玉県立大学 学長

研究要旨 インフルエンザワクチン接種の実態を把握し、今後のインフルエンザワクチンの需要を予測することを目的として、医療機関等を対象としたインフルエンザワクチン接種状況調査および住民に対する接種意向調査を実施し、ワクチンの接種状況を把握すると共に、需要予測を継続的に行ってきた。本研究においては、これらをさらに継続して行い、最終年度においては、これまでに蓄積したデータを基に、ワクチンの接種状況を結合比推定法により推計し直すとともに、ワクチンの需要予測の結果についての検証を行った。その結果、ワクチン接種率は平成 12 年度以降大きく上昇し、23 年度には小児と高齢者については 50% 台、一般成人でも 30% 程度に達しているものの、近年はほぼ横ばいとなっていた。また、標本サイズの縮小により、最近では世代別接種率の標準誤差が大きくなっていた。医療機関調査の需要予測の基礎となった次年度の接種者数の予測は、調査年度の実態を示しているに過ぎず、実際の接種者数は、調査終了後に発生した SARS や新型インフルエンザなどの影響を受けているものと思われた。さらに、これまでの住民意向調査による需要予測のずれは 6.1～19.6% で、年度によっては 20% 近いずれが見られることもあった。インフルエンザワクチンの需要予測は、ある程度の精度では可能であるものの、実際の需要は直近の情勢によって変化するため限界がみられ、むしろ接種率等の現状を継続的に高い精度で把握することが重要と思われた。

分担研究者

渡辺由美 高崎健康福祉大学 教授
延原弘章 埼玉県立大学 教授
大日康史 国立感染症研究所 主任研究官

A. 研究目的

インフルエンザの流行は年次変動が大きい上に、平成 6 年度の予防接種法の改正を機にインフルエンザワクチンの接種が任意接種となったことにより、近年、インフルエンザワクチン（以下「インフルエンザ」）の需要の予測は困難を極めている。さらに、13 年度には予防接種法改正による高齢者（65 歳以上）へのワクチンの勧奨接種が実施され、ワクチンの需要を的確に把握すること

が求められている。本研究は、この要請にもとづき、ワクチンの需要量の推計方法を確立することを目的として、ワクチン接種の現況を把握すると共に、ワクチンの需要予測を試みた。なお、本研究におけるインフルエンザワクチンはすべて季節性のインフルエンザワクチンであり、特に断りがない限り、インフルエンザ（H1N1）2009 の単価ワクチンは含んでいない。

B. 研究方法

これまで、医療機関等を対象とした調査（以下「医療機関調査」）および調査会社とモニター契約を結んだ世帯を対象とした調査（以下「住民意向調査」）の 2 種類の調査により、ワクチン接種

の現況を把握すると共に、次シーズンのワクチン需要の予測を継続的に行ってきた。

医療機関調査は、ワクチンの購入実績のある医療機関、老人保健施設および福祉施設（以下「医療機関等」）から都道府県を層として無作為抽出した医療機関等を対象に、ワクチン接種の状況および次シーズンの接種者予測人数を調査し、その結果から次シーズンのワクチン需要予測を行ってきた。本研究では上記をさらに継続して行い、12年度～22年度までの調査結果を基に、新たに、都道府県を層としワクチン使用本数を補助変数とする結合比推定（combined ratio estimate）により接種率の推定を行うと共に、これまでの需要予測の検証を行った。

住民意向調査は、調査会社とモニター契約を結んだ世帯を対象として調査を行い、実際の予防接種と Conjoint Analysis を融合させた Joint Estimation で random effect を伴う Probit によってワクチンの需要予測を行ってきた。本研究では上記をさらに継続して行い、17年度から23年度に実施した需要予測の検証を行った。

（倫理面への配慮）

今年度においては、過去に収集した、匿名化された資料の再分析であるため、倫理的な問題を生ずる可能性はない。

C. 研究結果

1. 医療機関調査

- 1) 12年度においては、小児（13歳未満）12.4%、一般成人（13～65歳）3.9%、高齢者（65歳以上）17.1%、全年齢7.3%であったワクチン接種率が、22年度においてはそれぞれ59.2%、28.6%、58.5%、38.6%にまで上昇していた。
- 2) 23年度の調査は、東日本大震災の影響を考慮し、岩手県、宮城県、福島県を対象から除いたため、結合比推定による一連の分析対象からは除外したが、世代別の接種率は、小児55.4%、一般成人30.0%、高齢者56.4%、全年齢39.0%と推定された。

- 3) 全年齢の接種率としては、全期間を通じて十分な精度を得ることができたが、小児においては16年度以降、高齢者については19年度以降、誤差がかなり大きくなっていった。
- 4) ワクチン需要予測の基礎となる接種者数の予測は、調査年度の実態を示しているに過ぎなかった。

2. 住民意向調査

- 1) Joint Estimation による需要予測の結果は、若干の推定値のブレはあるもののおおむね安定していた。
- 2) 需要予測のずれは6.1～19.6%で平均10.6%であった。

D. 考察

わが国では、昭和60年頃にはおよそ1700万本のワクチンが製造されていたが、その後次第に減少し、予防接種法の改正された平成6年度には30万本（現在の1%程度）まで減少した。しかしながら、その後、効果や接種対象者についての見直し、ワクチンに対するマスコミの対応の変化、新型インフルエンザ発生についての危惧等があり、需要が急速に伸び、ワクチン不足に陥ることも度々生じてきた。一方で、時間の経過とともに、一般国民のワクチンに対する評価が定まってきて、近年では2500万本程度の需要でほぼ横ばいの傾向をみせている。

接種率についてもほぼ同様の傾向を示しているが、高齢者については予防接種法改正の影響で13年度に大きく上昇し、15年度以降は大きな変化がないのに対して、小児は14年度から17年度にかけて大きく上昇するなど、世代によって異なる上昇の仕方をしている。近年では、小児と高齢者については50%台、一般成人については30%程度で安定する傾向がみられ、接種率からみても一般国民のワクチンに対する評価が定まってきたものと思われた。新型インフルエンザの発生等、インフルエンザを巡る情勢に大きな変化がなければ、一定の接種率に収束していくのではないかと

と思われる。

また、都道府県を層とし、ワクチン使用本数を補助変数とする結合比推定 (combined ratio estimate) により接種者数を推定することで、接種率の推定値の標準誤差を算出したが、世代別接種率については、標本サイズが縮小されるのに伴って、途中からかなり大きくなっていった。十分な精度を得るためには、回答数ベースで 2,000 件が必要であると思われた。

本研究における回収率はおおむね 30%程度であり、この程度の回収率を前提にすると、7000 以上の医療機関等に対して調査を実施するべきであったが、本補助金の縮小により、対象数を減らさざるを得なかった。今後、同様の調査を行う場合、十分な精度が確保できるサンプルサイズを得られるような予算措置が必要であろう。

医療機関調査におけるワクチン需要予測の基となったワクチン予測接種者数については、次年度の接種者の予測というよりも、調査時点の接種者数を反映しているに過ぎず、医療関係者からの聞き取りによる次年度の接種者数の予測という手法には限界がみられた。

住民意向調査によるワクチン需要予測については、6.1~19.6%の誤差があり、平均では 10.6%で比較的安定していた。しかしながら、新型インフルエンザの発生があった 21 年には 20%近い誤差があるなど、一般住民の意向を調査することで需要量を予測するという手法にも限界が見られた。

現在のワクチンの製造方法では、その製造に最低 6 カ月程度、製造に必要な受精卵を産む鶏の準備から考えれば 1 年以上を要すると言われている。そのため、インフルエンザシーズンに入る半年以上前に需要を予測する必要がある。一方、実際の需要本数は、SARS や新型インフルエンザの発生、マスコミ等でのインフルエンザの取り上げ方等、直近のインフルエンザを巡る情勢の影響を強く受けているものとみられ、ワクチンの製造体制に合わせて需要を的確に予測することは困難であ

った。

ワクチンの需要は、近年は 2500 万本程度の需要でほぼ横ばいとなっており、これまでの需要の変化から見て、新型インフルエンザの発生等がなければ、当面は最大でも 3000 万本程度の需要にとどまるものと見られる。しかしながら、21 年の新型インフルエンザが発生した際は、季節性インフルエンザワクチンとは別にワクチンの製造が必要になり、季節性インフルエンザワクチンの製造量が抑制されるなどの状況となった。そのため、危機管理の観点からは、十分な量のワクチン製造が可能な体制の構築やこれまでとは異なったワクチン製造方法の開発が望まれる。

また、長期的な需要計画を考える上では、ワクチンの接種状況を、継続的かつ正確に把握することが必要である。ワクチンの接種状況の把握のため、本研究では対象医療機関を無作為抽出により選定したが、回収率が低く、世代によっては比較的大きな誤差がみられていた。各医療機関等において、ワクチン接種者を世代別・接種回数別に記録することは、かなりの手間がかかることであり、回収率が十分に上がらなかったものと思われる。

そのため、前述のようにワクチンの接種状況を把握するためには、十分な精度が確保できるサンプルサイズの得られるような予算措置が必要であるが、信頼できる同じ医療機関に対して、継続的に調査の協力を依頼するなどの方法も考えられる。いずれにせよ、ワクチン接種状況の継続的かつ正確な把握のための体制整備が課題であろう。

E. 結論

- 1) 12 年度以降、接種率は大きく上昇し、小児と高齢者では 50%台、一般成人では 30%近くに達するようになったものの、近年は頭打ちの傾向が見られた。
- 2) 23 年度の世代別の接種率は、小児 55.4%、一般成人 30.0%、高齢者 56.4%、全年齢 39.0%と推定された。
- 3) 接種率の推定においてある程度の精度を確

保するには、2000 程度のサンプルが必要で、回収率を考慮すると 7000 施設程度を対象に調査を行う必要があった。

- 4) 医療機関調査による次年度の予測接種者数は、調査時点における接種の状況を反映したものに過ぎなかった。
- 5) 住民意向調査によるワクチン需要予測のずれは 6.1~19.6%で平均 10.6%であった。
- 6) ワクチンの需要量は、直近のインフルエンザを巡る情勢の影響を受けており、半年以上前に需要を予測することは困難であった。
- 7) 長期的な需要計画を考える上では、ワクチンの接種状況を、継続的かつ正確に把握することが必要であり、そのための体制整備が課題である。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: 2010/11 年シーズンにおけるインフルエンザワクチンの需要予測. 健康福祉研究 7(2):39-51, 2010
- 2) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: 2011/12 年シーズンにおけるインフルエンザワクチンの需要予測. 日本保健福祉学会誌 19(1): 31-36, 2013

2. 学会発表

- 1) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 9-第 1 報 09/10 年シーズン接種状況-. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010.10 (日本公衛誌 57(10)特別付録: 196, 2010)
- 2) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 9-第 2 報 10/11 年シーズン需要予測-. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010.10 (日本公衛誌 57(10)

特別付録: 196, 2010)

- 3) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 10-第 1 報 10/11 年シーズン接種状況-. 第 70 回日本公衆衛生学会総会, 2011.10 (日本公衛誌 58(10)特別付録: 153, 2011)
- 4) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 10-第 2 報 11/12 年シーズン需要予測-. 第 70 回日本公衆衛生学会総会, 2011.10 (日本公衛誌 58(10)特別付録: 153, 2011)
- 5) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 11-第 1 報 11/12 年シーズン接種状況-. 第 71 回日本公衆衛生学会総会, 2012.10 (日本公衛誌 59(10)特別付録: 221, 2012)
- 6) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 11-第 2 報 12/13 年シーズン需要予測-. 第 71 回日本公衆衛生学会総会, 2012.10 (日本公衛誌 59(10)特別付録: 221, 2012)
- 7) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 12-第 1 報 接種者数および接種率の推定-. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013.10 (発表予定)
- 8) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 12-第 2 報 ワクチンの需要予測-. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013.10 (発表予定)

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

資料1 医療機関調査に使用した調査票（平成23年度版）

平成23年9月

御担当者各位

厚生労働省医薬食品局血液対策課長

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について（協力依頼）

厚生労働省では、毎年度、インフルエンザワクチン（以下「ワクチン」という。）について、その需要をよりの確に把握し、安定供給を行うために、「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、需要予測のための調査・検討を行っています。また、当該検討会における調査・検討に資するよう、インフルエンザワクチン需要調査研究班において、需要予測のための調査を実施しております。

つきましては、次シーズン（平成24年度）の需要予測を行うためのデータを作成するためには、今年度のシーズン中に調査を実施する必要があることから、今シーズンも昨シーズンと同様に、医療機関、老人保健施設、老人福祉施設及び児童福祉施設等のワクチン接種施設に調査票を配布し、シーズン終了後に回収したうえで、その集計結果をもとに需要予測を行うことといたしておりますので、貴施設におかれましては、本調査の趣旨を御理解いただき、何卒御協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、都道府県等の自治体や地域医師会等より、シーズン中にワクチンに関する別の調査を依頼される場合もあるかと存じますが、それらは主に、シーズン中における在庫状況を調査するためのものであり、本調査とは趣旨が異なりますので、御承知おき願います。

平成23年9月

御担当者各位

インフルエンザワクチン需要調査研究班
研究代表者 三浦 宜彦

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について(依頼)

インフルエンザワクチンは、ご承知のとおり、平成6年の予防接種法の改正でインフルエンザの予防接種が任意接種となったのを契機に、その製造量は激減いたしました。しかし、近年、インフルエンザの重症化防止として、ワクチンの効果が見直され、その需要は、特に高齢者を中心に急激に伸びております。そこで、厚生労働省では、「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、インフルエンザワクチンの安定供給に努めているところです。

今般、平成24年度のインフルエンザシーズンの需要予測に向けて、平成23年度のインフルエンザワクチンの使用状況を調査するために、シーズン開始時に調査票を配布し、シーズン終了後に回収・集計することを考えております。本調査の趣旨をご理解いただき、是非、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

調査にご協力いただきましたら、インフルエンザワクチン使用時に、同封いたしました調査票に必要事項をご記入いただき、シーズン終了後(貴施設でのインフルエンザ予防接種終了後から3月31日まで)に同調査票をご返送いただきますようお願い申し上げます。ご返送の際には、同封の受取人払い返送用封筒をご使用ください。

なお、調査結果につきましては、集計結果のみを公表することとし、個別データの公表は一切致しませんので、ご迷惑をおかけすることはありません。

<調査スケジュール>

9月	調査票の発送
10月～2月末日 (今シーズン全期間)	接種状況調査期間
3月末日	調査票の返送期限

インフルエンザワクチン需要調査

1. 目的

次シーズン(平成24年度)に向けてインフルエンザワクチンの需要を把握し、需要に見合う量のワクチンを出来る限り円滑に製造・供給する。

2. 調査方法

インフルエンザワクチンの接種時期前に無作為に抽出した医療機関, 老人保健施設, 老人福祉施設, 児童福祉施設, ならびにその他の施設に調査依頼を行う。協力施設等においてインフルエンザワクチン接種時に調査票に必要事項を記載してもらい。シーズン終了後にそれらの調査票を回収し、集計する。

3. 調査の位置付け

厚生労働省医薬食品局に設置された「インフルエンザワクチン需要検討会」の検討結果をもとに、研究班により実施。

4. 照会先

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地

埼玉県立大学保健医療福祉学部 みうち よしひこ 三浦 宜彦

TEL&FAX : 048(973)4325

e-mail : influ@spu.ac.jp

インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストの記入の手引き

- ◆ この手引きを参照の上、ご記入くださいますようお願い申し上げます。
- ◆ ご記入の際、ご不明な点等がございましたら、下記までお尋ねください。
- ◆ インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストが不足した場合は、ご請求ください。

（お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。）

埼玉県立大学内 インフルエンザワクチン需要調査研究班 三浦宜彦

TEL 048-973-4325

FAX 048-973-4325

e-mail influ@spu.ac.jp

1. 集計方法

- ①調査票のインフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストに、直接集計結果を記入する場合
- ・接種者1人を1行に記入する方法
 - ・同日に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、1日分をまとめて1行に記入する方法
 - ・同期間に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、期間分をまとめて1行に記入する方法

☆いずれの方法で記入していただいても結構です。

②コンピュータ集計の場合

コンピュータ集計をされている施設では、調査票のインフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストに転記する手間を省くため、そのまま集計データをお送りいただいて構いません。その場合、できれば入力例のように、必要調査項目には漏れのないようご提出ください。送っていただくデータは、Windowsで読める形式であれば、媒体はFD、MO、CD-R等、何でも結構です。

なお、e-mailでのご提出も受け付けておりますので、下記アドレスに送信してください。

e-mail : influ@spu.ac.jp

3～7ページの記入・入力例をご参照ください。

2. インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストの記入方法

1) 接種日(期間) 接種日(期間)をご記入ください。接種日は、日付順に並べる必要はございません。

- ・ 1日の場合 : 上段に平成×年×月×日と記入する。
- ・ 複数日の場合 : 上段に開始日を記入し、下段に終了日を記入する。

- 2) 年齢区分 該当する年齢区分の数字1つに○をつけてください。
- 3) 対象者区分 該当する対象者区分の数字1つに○をつけてください。
- ・「入院患者」とは貴施設が医療機関（病院・診療所）の場合、貴施設の入院患者をいいます。
 - ・「施設入所者・通所者」とは、貴施設が老人保健施設、老人福祉施設等の福祉施設、その他の施設の場合、貴施設の入所者又は通所者をいいます。
 - ・「医療従事者・施設従事者」とは、貴施設の医療機関及び施設の職員等の従事者をいいます。
 - ・貴施設で購入したワクチンを外部施設で接種する場合、対象者区分は『5：1～4以外』となります。
- 4) 接種方法 該当する接種方式の数字1つに○をつけてください。
- 5) 人 数 接種者1人を1行に記入する場合は1を、同じ条件の接種者を期間分まとめて記入する場合は、集計した人数をご記入ください。
- 6) 集計用欄 同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者を、まとめて記入される場合にご利用ください。
- 7) 頁(ページ)数 接種状況リスト右上の頁(ページ)記入欄には、記入した接種状況リストの全頁(ページ)数のうち、何頁(ページ)目にあたるかをご記入ください。
- ・記入例) 3/25頁中・・・全25ページ中、3ページ目

*** インフルエンザワクチン(3価ワクチン)接種状況リストが不足する場合は、ご請求ください。**

*** お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。**

【記入例1】接種者1人ずつ記入する場合

接種日（期間）	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成 23 年 10 月 3 日 平成 年 月 日	1 : 3歳未満 ② : 3歳以上～13歳未満 3 : 13歳以上～65歳未満 4 : 65歳以上	① : 外来患者 2 : 入院患者 3 : 施設入所者・通所者 4 : 医療従事者・施設従事者 5 : 1～4以外	1 : 1回接種 ② : 2回接種の1回目 3 : 2回接種の2回目	1	
平成 23 年 10 月 3 日 平成 年 月 日	1 : 3歳未満 2 : 3歳以上～13歳未満 ③ : 13歳以上～65歳未満 4 : 65歳以上	① : 外来患者 2 : 入院患者 3 : 施設入所者・通所者 4 : 医療従事者・施設従事者 5 : 1～4以外	① : 1回接種 2 : 2回接種の1回目 3 : 2回接種の2回目	1	
平成 23 年 10 月 3 日 平成 年 月 日	1 : 3歳未満 2 : 3歳以上～13歳未満 3 : 13歳以上～65歳未満 ④ : 65歳以上	① : 外来患者 2 : 入院患者 3 : 施設入所者・通所者 4 : 医療従事者・施設従事者 5 : 1～4以外	① : 1回接種 2 : 2回接種の1回目 3 : 2回接種の2回目	1	

【記入例2】同じ条件の接種者をまとめて記入する場合

接種日（期間）	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成 23 年 10 月 4 日 平成 年 月 日	1 : 3歳未満 ② : 3歳以上～13歳未満 3 : 13歳以上～65歳未満 4 : 65歳以上	① : 外来患者 2 : 入院患者 3 : 施設入所者・通所者 4 : 医療従事者・施設従事者 5 : 1～4以外	1 : 1回接種 ② : 2回接種の1回目 3 : 2回接種の2回目	5	正
平成 23 年 10 月 1 日 平成 23 年 10 月 31 日	1 : 3歳未満 2 : 3歳以上～13歳未満 3 : 13歳以上～65歳未満 ④ : 65歳以上	① : 外来患者 ② : 入院患者 3 : 施設入所者・通所者 4 : 医療従事者・施設従事者 5 : 1～4以外	① : 1回接種 2 : 2回接種の1回目 3 : 2回接種の2回目	18	正正正下

【記入例3】混在した方法で記入する場合

接種日（期間）	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成23年11月1日 平成 年 月 日	1: 3歳未満 ②: 3歳以上～13歳未満 3: 13歳以上～65歳未満 4: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	-
平成 年 月 日 平成 年 // 月 日	1: 3歳未満 2: 3歳以上～13歳未満 3: 13歳以上～65歳未満 ④: 65歳以上	1: 外来患者 ②: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	4	正
平成23年11月2日 平成23年11月8日	1: 3歳未満 ②: 3歳以上～13歳未満 3: 13歳以上～65歳未満 4: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	6	正-
平成 年 月 日 平成 年 // 月 日	1: 3歳未満 2: 3歳以上～13歳未満 ③: 13歳以上～65歳未満 4: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	9	正正
平成23年11月9日 平成 年 月 日	1: 3歳未満 2: 3歳以上～13歳未満 3: 13歳以上～65歳未満 ④: 65歳以上	1: 外来患者 ②: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	-

↑

同じ期日が続く場合は //、同上、等でも可

※注意 以下のようには記入しないようご注意ください！

接種日（期間）	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成23年11月16日 平成 年 月 日	①: 3歳未満 ②: 3歳以上～13歳未満 ③: 13歳以上～65歳未満 ④: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 ③: 施設入所者・通所者 ④: 医療従事者・施設従事者 ⑤: 1～4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	5	正
平成23年11月24日 平成 年 月 日	①: 3歳未満 ②: 3歳以上～13歳未満 ③: 13歳以上～65歳未満 ④: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 ③: 施設入所者・通所者 ④: 医療従事者・施設従事者 ⑤: 1～4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	12	正正T
平成23年12月1日 平成23年12月4日	①: 3歳未満 ②: 3歳以上～13歳未満 ③: 13歳以上～65歳未満 ④: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 ③: 施設入所者・通所者 ④: 医療従事者・施設従事者 ⑤: 1～4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	16	正正正



1つの区分の欄には2つ以上の○をつけない

【コンピュータ集計の場合の入力例】 Excelを使用した場合

※ 注意 3価ワクチンについてのみご記入ください。また、ファイル名には、必ず貴施設名をご使用ください。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C	D	E	F	G
1	名称	埼玉県立大学					
2	所在地	埼玉県越谷市三野宮820					
3	TEL	048-973-4325					
4	FAX	048-973-4325					
5	E-mail	influ@spu.ac.jp					
6	担当者所属部署	保健医療福祉学部					
7	担当責任者	三浦宜彦					
8							
9							

The spreadsheet title bar shows 'J15' and the active sheet is '施設名称ほか'. The status bar shows 'コマンド' and '100%' zoom.

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	23年度(本シーズン)ワクチン				24年度(次シーズン)ワクチン接種見込み人数					
2	1ml		0.5ml		年齢区分					
3	準備本数	使用本数	準備本数	使用本数	3歳未満	3歳-13歳	13歳-65歳	65歳以上	計	
4	70	67	60	55	0	40	68	70	178	
5										
6										

The spreadsheet title bar shows 'N12' and the active sheet is '施設名称ほか'. The status bar shows 'コマンド' and '100%' zoom.

M9

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
1	インフルエンザワクチン(3価ワクチン)の在庫状況									
2	1) 昨シーズン(22年12月末現在)			2) 本シーズン(23年12月末現在)						
3	2			1						
4										
5										
6										

施設名称ほか 質問1・質問2 質問3 質問4 インフルエンザワクチン(3価ワクチン)接種状況リ
コマンド 100%

F15

	A	B
1	本シーズンのインフルエンザワクチン接種状況	
2	1) 接種希望者に対して全員に接種できたか	2) 1)で「2」と回答の方。最も大きな理由を一つ選択
3	2	3
4		
5	2)で「4.その他」と回答の方。	
6		
7		
8		

施設名称ほか 質問1・質問2 質問3 質問4 インフルエンザワクチン(3価ワクチン)接種状況リ
コマンド 100%

The screenshot shows an Excel spreadsheet window titled "インフルエンザワクチン(3価ワクチン)接種状況リスト". The spreadsheet has columns A through J and rows 1 through 12. The data is as follows:

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	No.	接種日(期間)	年齢区分	対象者区分	接種方法	人数				
2	1	10/24	4	1	1	1				
3	2	10/26	3	1	1	3				
4	3	10/26	4	1	1	5				
5	4	10/26	4	2	1	18				
6	5	11/1~12/29	2	1	2	45				
7	6	11/1~12/29	3	1	1	38				
8	7	11/1~12/29	4	1	1	26				
9	8	1月	3	1	1	15				
10	9	1月	4	1	1	12				
11										
12										

Callouts in the image explain the data entry and aggregation rules:

- 接種者を1人ずつ記入 (Enter 1 person at a time)
- 同じ条件の接種者ごとに1日分まとめて集計 (Aggregate by 1 day for the same conditions)
- 同じ条件の接種者ごとに一定期間まとめて集計 (Aggregate by a certain period for the same conditions)
- 同じ条件の接種者ごとに一月分まとめて集計 (Aggregate by 1 month for the same conditions)

The spreadsheet interface includes a formula bar with "fx", a command bar with "コマンド", and a status bar with "100%".

平成 23 年度インフルエンザワクチン需要調査

インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況調査票

名 称		
所 在 地		都 道 市 区 府 県 町 村
連絡先	電話番号	
	F A X	
	e-mail アドレス	
担当責任者所属部署		
担 当 責 任 者 名		

- ・ 1 ページの「質問 1, 質問 2, 質問 3, 質問 4」は、本調査票返送時（シーズン終了後）にご記入ください。
- ・ 3 ページ以降の「インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リスト」は、別添の「インフルエンザワクチン（3価ワクチン）接種状況リストの記入の手引き」に従って、本シーズン中、インフルエンザワクチンを接種する度にご記入ください。